

福岡和白病院 血管外科で腸骨動脈瘤に対して ステントグラフト内挿術を受けられた患者様へ

当院血管外科・血管内治療部では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	腸骨動脈瘤に対するステントグラフト留置術のデバイス方向による成績の検討
当院の研究責任者（所属）	血管外科・血管内治療部 手島英一
本研究の目的	腸骨動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を施行した患者における、順行性デバイス留置と逆行性デバイス留置（upside down 法）による有用性と安全性の検討を目的とします。
調査データ該当期間	2020年1月1日～2029年3月31日まで
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様● 上記期間に当院腸骨動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を受けられた患者様</p>
	<p>●使用するカルテ情報● ① 手術時の年齢・身長・体重・内服薬・喫煙状況・既往歴等 ② 治療の技術的成功 ③ 手術前後のCTによる血管の大きさ等 ④ 治療30日以内における有害事象の発生</p>
	<p>●試料や情報の管理● 情報は、研究代表者のロックのかかったパソコンで管理され、集計、解析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>

<p>本研究の資金源・ 利益相反[※]について</p> <p>※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>福岡和白病院 血管外科・血管内治療部 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：手島 英一</p>